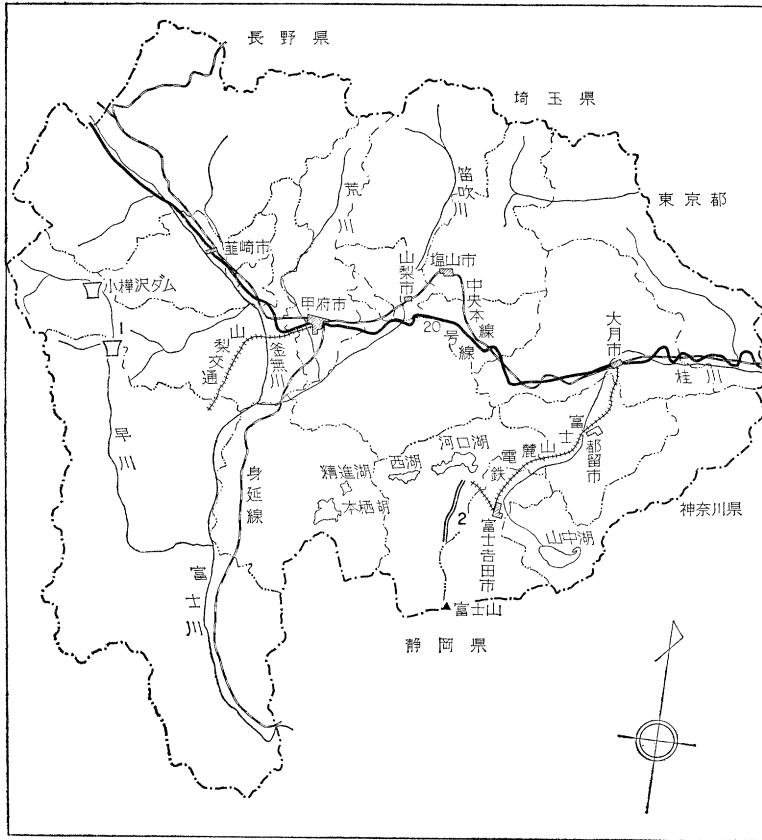


山 梨 県



工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	県営野呂川発電所建設事業
道路工事	2	富士山有料道路建設事業

山梨県諸元表

市の数	7	
面積	4 465.86 km	
人口	782 062 人	
36年度予	一般	133億8164万円
算	交付金	39億8096万円

新 潟 県

新潟工業港建設計画

既成工業地帯の行詰りから、過大都市の防止ならびに地域格差の是正を計り、工業および人口を優れた立地条件を持つ地方に分散する事が、国家要請となっている。このような開発の段階において、新潟市を中心とする地区は対岸との距離700kmであり、関東経済圏に近く、工業の地方分散における拠点的地位を保っている。

現在新潟港を中心とする地域は背後用地にとほしく、港湾の発展ならびにその他の工業立地条件の整備も期待できない。しかしながら阿賀野川と加治川との間の約60000000m²(18000000坪)におよぶ広大な未開発砂丘地帯においては良質かつ、豊富な水資源をはじめ、地下資源、電力、労働力の獲得が容易である。従ってこの地域において新しく工業港を建設し、工業用水道・道路・鉄道などの立地条件を整備して、臨海工業地帯を造成することは緊急を要する大事業である。

一方この新しい臨海工業地帯の造成は、新潟市を中心とした人口100万人を有する都市圏開発の基礎となり、

新潟県、東北地方のみならず、日本経済の伸展に寄与しうるものと考えられる。県はすでに「新潟港開発技術調査委員会」を設置して開発計画を検討中であるが計画の概要は次のとおりである。

1. 防波堤 西防波堤 1700m, 東防波堤 800m
2. 航路、泊地 45000D/W級のスーパータンカーの入港を可能ならしめるため、水深12m, 巾員250m, とし、泊地としては、水深12m 面積約280000m²(直径600m 円形水面)を設定する。
3. 水路 臨海工業地帯の専用岸壁に通ずる水路は水深12m, 巾員250m 岸壁の制限のり線間の巾員は400mとする。また船舶の方向回転のため水路の途中において、水深12m 面積約360000m²(巾員500m 延長750m であって直径500mの円形水面がとれる)を設定する
4. 公共埠頭 臨海工業地帯造成により建設される工場の工業用原材料製品などの貨物およびその他一般物資を取扱うため、公共埠頭を水深10mの15000D/W級貨物船用4バースを設置する。

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備 考
中巨摩郡芦安村および南巨摩郡早川町 (中央線 甲府駅、バス)	南巨摩郡早川町西山温泉	274	砂防堰堤と合併施工の取水ダムを築造し 5 km を導水して落差 338 m をえて最大使用水量 7 m ³ /sec により最大出力 19 800 kW の発電所を建設するものである。	山 梨 県	鹿島建設	1964. 3	1962. 2. 1 現在道路工事延長 7.5 km のところ 20 % 全体としては 10%の出来。
南都留郡河口湖町(中央線大月駅・富士急行鉄道河口湖駅)	山梨県南都留郡河口湖町船津	165	富士五湖の玄関である河口湖から富士山五合目までのドライブコースを建設するもので延長 30 km 巾員 6.5 m のコンクリート舗装道路である。	山 梨 県	名工建設 秋島建設	1964. 3	1962. 2. 1 現在着工分については 30%の出来 全体としては 15%の出来。

富士川水系早川・山梨県営発電事業

山梨県営発電所建設事業は、早川流域総合開発の一環として昭和 28 年度より着手し、すでに下流から西山・奈良田第二・および奈良田第一の三発電所を開発して来たが、その最大出力はそれぞれ 18 400 kW, 4 400 kW および 26 900 kW であり、その合計は 5 万 kW に達し、砂防事業とも相まって道路の開さく、林業の発展、文化の向上、観光資源の開発などに大きい力を発揮した。現在進行中の野呂川発電所は、出力 19 800 kW であって電力の開発と共に進められて来た道路の新設も、今回の約 7.5 km の開さくにより、県都甲府市から国道道、および林道により南アルプスのふところ深く進められている道路と最終端で握手することになり意義深いものである。将来はその上流に 8 400 kW の発電所を、また西山発電所の対岸に 5 600 kW の湯島発電所を建設する予定であり、全部完成の暁には 10 万 kW に達する一大電源地帯を形成し、総合開発的な効果を期して待つべきものがある。

県営富士山有料道路建設事業

この事業は富士五湖の玄関ともいえる河口湖と富士山五合目を結ぶ自動車道路を建設するもので、昭和 36 年 9 月に着工し現在約 20% の進捗を示している。完成予定は昭和 39 年 9 月 31 日で同年 4 月 1 日に供用開始される予定である。この事業は道路整備特別措置法第 8 条にもとづいて県が全額起債で行なうもので償還期限は 20 年である。延長 30 km におよぶこの道路は富士山の名勝、天然記念物などの観賞に役立つのみならず、冬山のスキー、登山、天然科学の研究など、大いに利用されると思う。

また、現在は五合目で自動車でも約 2 時間 40 分かかるものを、この道路の建設によって約 35 分程度で登山出来るので富士登山の日帰りコースも完成される訳である。富士山麓の数万ヘクタールにおよぶ果有地の開発と共にこの事業の持つ意義は非常に大きいものがある。

5. 臨海工業用地造成計画 新井郷川および加治川間延長 14 km と海岸線から国道 7 号線にいたる砂丘地をふくむ 60 000 000 m² (18 000 000 坪)のうち、36 000 000 m² (11 000 000 坪) の臨海工業用地を造成する。

[注] 去る昭 37.2.22 の調査委員会において問題とされた航路巾および水深については、船型の規模は第 1 期を 15 000 D/W (水深 10 m) とし、第 2 期以降において 60 000 ~ 100 000 D/W の大型船が入港できるよう検討中である。

関屋分水計画

関屋分水計画とは、新潟市街地はすれから、延長約 1.8 km の放水路を切り開いて、旧信濃川の全流量を直接日本海へ放流するとともに、新潟市街地の旧川を埋立てることにより、旧信濃川周辺の種々の問題を総合的に解決を計るものである。すなわち、

1. 旧信濃川下流部の洪水問題を一きよに解決する。
2. 旧信濃川沿岸穀倉地帯の排水を容易にする。
3. 河口にある新潟港の埋没土砂を防止し、あわせて泊地の拡

大など、同港発展の基礎を作る。4. 旧信濃川によって分断されている東西新潟を一体化し、都市整備に資する。5. 利用価値の高い土地を造成する。等を計画目標とするものである。

関東自動車道路建設計画

東京都を起点とし、埼玉、群馬、新潟県を縦断して新潟市を終点とする太平洋岸と日本海岸を結ぶ唯一の本土横断道路で、京浜大工業地帯と新潟臨海工業地帯を直結し、あわせて沿線内陸地帯を開発し日本経済の健全な発展に寄与しようとするものである。

1. 計画区間および主なる経過地

起点・終点：東京都——新潟市

主なる経過地 川越市付近、前橋市付近、長岡市付近

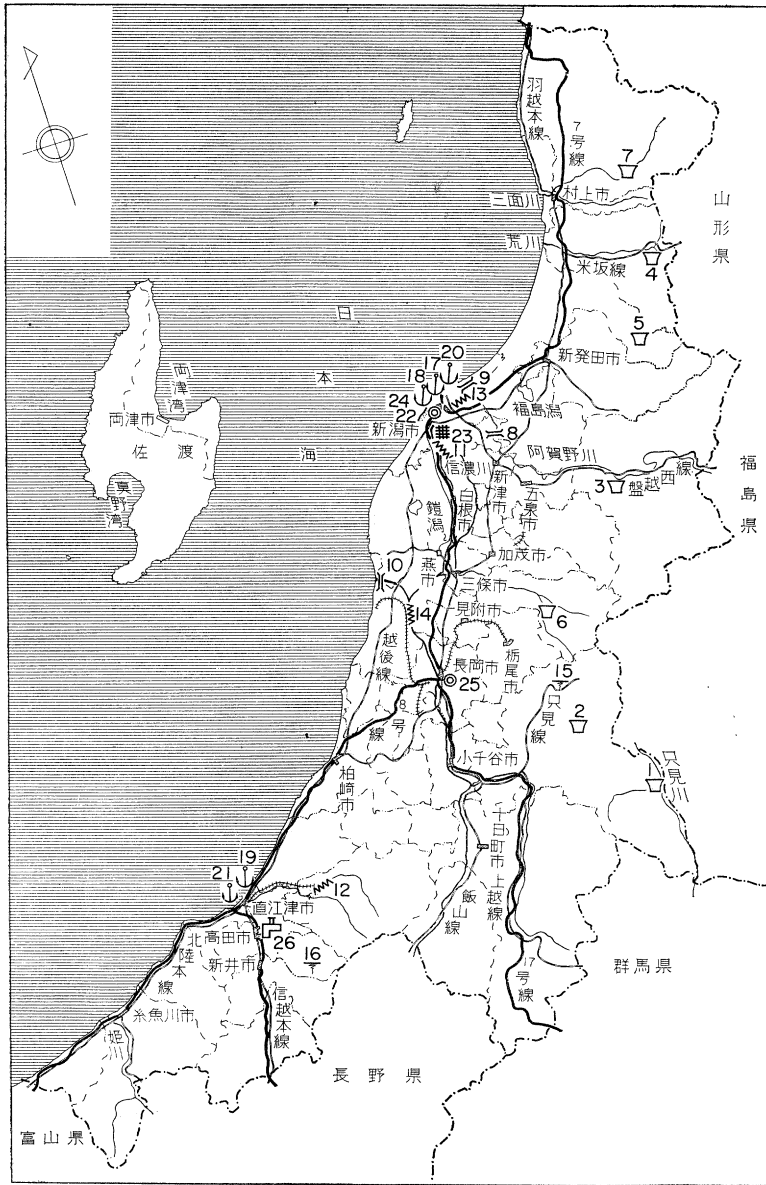
2. 構造基準：車道は方向別に分離し、一方向 2 車線

(巾員 7.2 m) 往復 4 車線、中央分離帯 3 m 総巾 24.4 m

3. 概算建設費：延長 300 km, (東京都 10 km, 埼玉

県 69 km, 群馬県 87 km, 新潟県 134 km)

概算事業費 約 1 500 億円

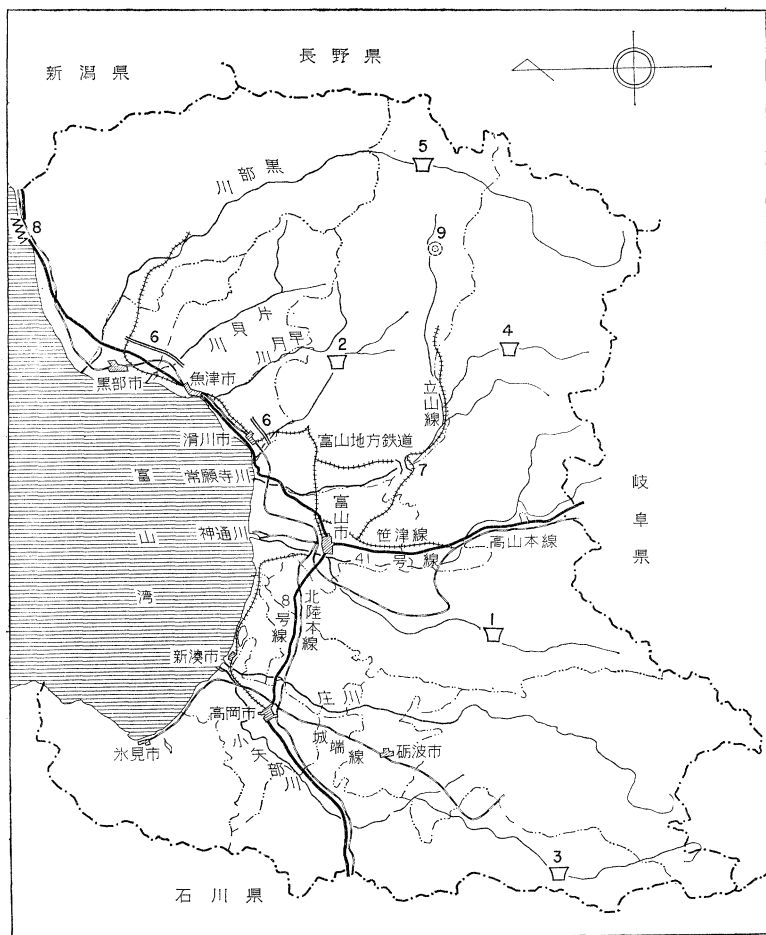


新潟県都市一覽 (昭和36年10月1日現在)

都市名	面積 (km ²)	人口	都市名	面積 (km ²)	人口
新潟	208.25	314 528	見 附	77.96	40 443
長 岡	259.45	148 254	村 上	142.74	32 878
高 田	145.21	73 238	燕 江	39.88	37 547
三 條	76.38	71 594	直 津	106.26	43 304
柏 崎	205.13	74 139	栃 尾	205.39	37 681
新 発 田	433.25	73 886	糸 魚 川	473.43	41 910
新 津	77.42	56 110	新 井	167.23	34 351
小 千 谷	154.49	49 445	五 井	99.03	36 941
加 茂 町	133.05	39 292	両 津	234.18	28 892
十日 町	157.52	42 223	白 根	79.14	35 658

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	奥 只 見
	2	黒 又 揚
	3	揚 川
	4	岩 船
	5	胎 内 川
	6	笠 掘
	7	三 面
橋梁工事	8	横雲橋架換工事
	9	松浜橋架換工事
	10	野積橋架換工事
河川工事	11	旧信濃川改良工事
	12	保倉川災害土木助成工事
	13	新潟地区地盤沈下工事
	14	大河津分水工事
地すべり	15	辛 精 新田 災害関連工事
	16	猿 供 養 寺 災害復旧工事
新潟港 地盤沈下策 対	17	岸壁工事 護岸工事
	18	岸壁工事
		① 潜堤工
② 護片根固工		
港湾改修	19	岸壁工事
		防波堤工事
		山の下埠頭建設
20	埋立工事	
	荷役機	
海岸保全	22	新潟港侵食対策工事
都市計画	23	(八千代橋)
下水道	24	公共下水道 都市下水路 (地盤沈下対策事業)
		公共下水道 今朝日幹線, 準幹線
工業用水道	26	上越工業用水道 建設事業

富 山 県



工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	井田川総合開発事業 室牧ダム
	2	上市川総合開発事業 上市川ダム
	3	小矢部川総合開発事業 刀利ダム
	4	有峯ダム
	5	黒四ダム
道路工事	6	国道8号線 道路改築事業 (道路改良 橋梁整備)
橋梁工事	7	立山橋架換工事
河川工事	8	下新川郡朝日海岸 災害復旧助成工事
観光施設および観光計画	9	立山, 黒部, 有峰地 帯観光開発事業 立山一般自動車道建設工事

富 山 県 諸 元 表

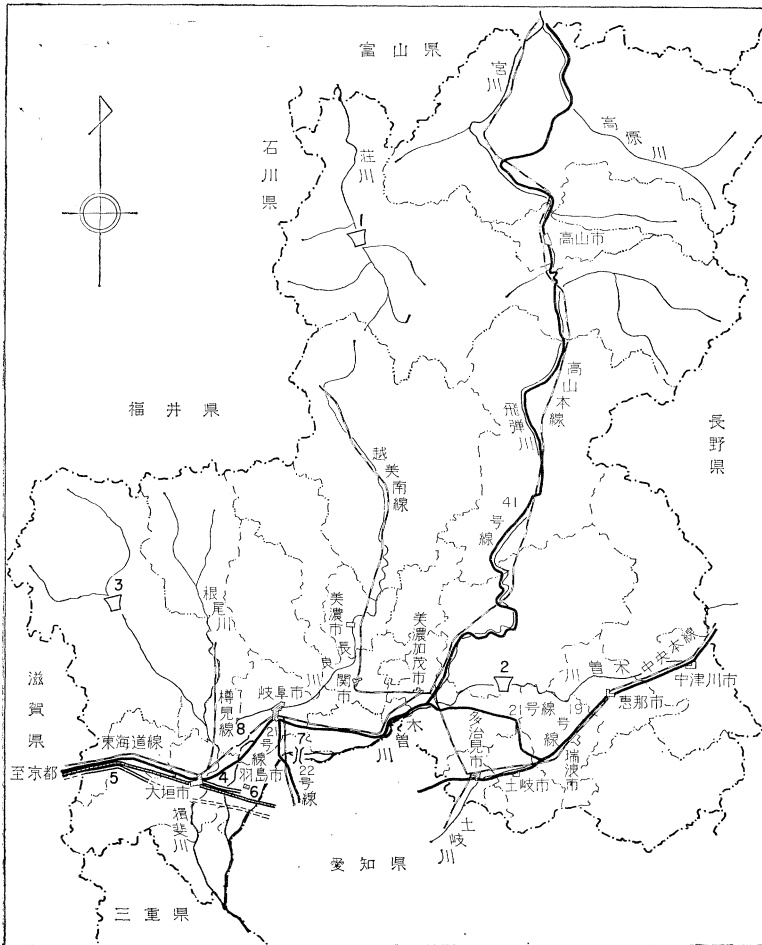
市の数	総 面 積	総 人 口	36 年 度 予 算
8	4 252.03 km ²	1 032 614 人	一 般 179 億 6 105 万円 交 付 金 41 億 9 045 万円

富 山 県 都 市 一 覧 表 (昭和36年10月1日現在)

都 市 名	市制施行日	面 積 km ²	人 口
富 山	明 22. 4. 1	148.77	207 266
高 岡	明 22. 4. 1	119.56	135 190
新 湊	昭 26. 3.15	32.52	47 882
魚 津	昭 27. 4. 1	200.83	47 309
氷 見	昭 27. 8. 1	229.65	65 962
滑 川	昭 29. 3. 1	54.13	31 392
黒 部	昭 29. 4. 1	87.91	31 968
砺 波	昭 29. 4. 1	96.42	36 453

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
婦負郡八尾町正間 (国鉄八尾駅, バス)	室牧ダム管理事務所 婦負郡八尾町正間	138.0	アーチ式コンクリートダム $H=80.5\text{ m}$ $L=128.0\text{ m}$ $V_0=57\,200\text{ m}^3$ $V_e=13\,500\,000\text{ m}^3$	富山県	佐藤工業	竣工 1961.11	県最初の多目的ダム P.I.F
中新川郡上市町釈泉寺 (地鉄 上市駅, バス)	上市川建設事務所 中新川郡上市町釈泉寺	116.5	重力式コンクリートダム $H=64.0\text{ m}$ $L=146.0\text{ m}$ $V_0=133\,500\text{ m}^3$ $V_e=3\,700\,000\text{ m}^3$	〃		1961.4~	多目的ダム P.I.F
東砺波郡福光町刀利 (国鉄 福光駅, 途中迄バス)	農林省小矢部川農業水利事業所 東砺波郡福光町荒木	317.0	アーチ式コンクリートダム $H=115.0\text{ m}$ $L=219.4\text{ m}$ $V_0=144\,000\text{ m}^3$ $V_e=23\,400\,000\text{ m}^3$	農林省	間組	1961.4~1965	多目的ダム P.I.F
上新川郡大山町 (地鉄 立山線 小見)			重力式コンクリートダム $H=140.0\text{ m}$ $L=500.0\text{ m}$ $V_0=1\,568\,000\text{ m}^3$ $V_e=148\,800\,000\text{ m}^3$	北陸電力	前田建設	1956~1961	
中新川郡立山町御前沢 (地鉄本線 宇奈月駅→軌道)	黒部川第四水力発電所建設事務所 長野県大町市		アーチ式コンクリートダム $H=186.0\text{ m}$ $L=488.58\text{ m}$ $V_0=1\,360\,000\text{ m}^3$ $V_e=148\,800\,000\text{ m}^3$	関西電力	間組	1956.7~1963.6	日本最高のダム 交通 大町よりの方が便
中新川郡水橋町鏡田 滑川市野町地内 (国鉄 滑川駅)	北陸地方建設局富山工事事務所 富山市石金 84	事業費 22.8	道路改良延長 4.0 km 市員 9.0 m 橋梁整備延長 90 m (1橋) (江尻橋 90 m) 市員 9.5 m	建設省	佐藤工業 林建設 名古屋造船	1961.4.1~	
滑川市大島 } 地内 黒部市三日市 } (国鉄 黒部駅乗換 地鉄本線 東三日市駅)	北陸地方建設局黒部工事事務所 黒部市三日市桜	事業費 45.6	道路改良延長 4.8 km 市員 9.0 m 橋梁整備延長 575 m (3橋) (早月大橋 291 m 片貝大橋 228 m 布施川橋 56 m) 市員 9.5 m		佐藤工業 林建設 東亜コンクリート 川田工業 横河橋梁	1962.3.31	
中新川郡立山町岩崎寺 上新川郡大山町上滝 (地鉄立山線 大川寺公園下駅)	立山土木出張所 中新川郡立山町五百石	16	橋長 345.8 m 市員 6.0 TL 20 二径間連続合成桁 2連 三径間連続合成桁 1連 支点沈下および PC 鋼棒により床板にプレストレス導入 主要部材 SM 50 B 使用	富山県	下部工 林建設工業 上部工 川田工業 (三径間連続合成桁一連)	下部工 1959.9~1961.3 上部工 1961.7~1963.3	カールソン計器を使用して応力測定実施中 国立公園立山連峯の展望, 絶佳 冬期スキー可
下新川郡朝日町大屋 (国鉄 泊駅)	入善土木出張所 下新川郡入善町入善	113	延長 1169.5 m 天端高 +5.70 m 基礎下端 -1.00 m 止水壁シートパイル $L=1.50\text{ m}$ 扶壁工 5.0 m 間隔 躯体 12326' コンクリート 水叩高 4.70 m 巾 3.00 m 排水溝 底巾 1.0 m 高 1.50 m	富山県	黒東土建 鹿熊組 小川建設	1958.6~1962.9	宮崎漁港 天然博物館 城山公園
中新川郡立山町 (地鉄立山線 千寿ヶ原駅)	富山市桜橋通 電気ビル内	92	藤橋—美女平間 (第一工区) $L=9\,115\text{ m}$ ¥ 68 千万円 トンネル 10 カ所 掩蓋口 5 カ所 216 m 橋梁 1 カ所 $W=6\text{ m}$ $L=51\text{ m}$ 迫分—天狗平間 (第二工区) $L=7\,098\text{ m}$ ¥ 24 千万円	立山, 黒部 有峯開発	第一工区 未定 第二工区 林建設	1961.10~1964.3	室堂—御前沢間, 延長 17~20 km は現在調査中で調査終了後着工の予定

岐 阜 県



岐 阜 県 の 概 要

本県は地勢上日本海にそそぐ神通川・庄川・九頭竜川流域に属する飛騨高原地帯と、太平洋にそそぐ木曾川・長良川・揖斐川・庄内川流域たる美濃地方とに分離される。

両地域とも河川は大半開発され阪神中京工業地帯への重要な電源供給地となっている。また治水の面においても木曾・揖斐・長良の直轄三川を始めその他中小河川の整備を急いでいる。

一方本県はこれら河川の豊富な水量

と、伊勢臨海工業地帯の後背地という恵まれた立地条件のため基幹産業の関連工場が多く、道路網の整備が急がれている。県内を縦貫する41号線、美濃地方を横断する19号・21号・22号の各1級国道を始め、名神高速自動車国道・東海道新幹線交通網に対する連絡道の整備、都市計画事業など現在着々計画、整備中であり内陸工業地帯として一大発展すべき有利な条件が成熟しつつある状況である。

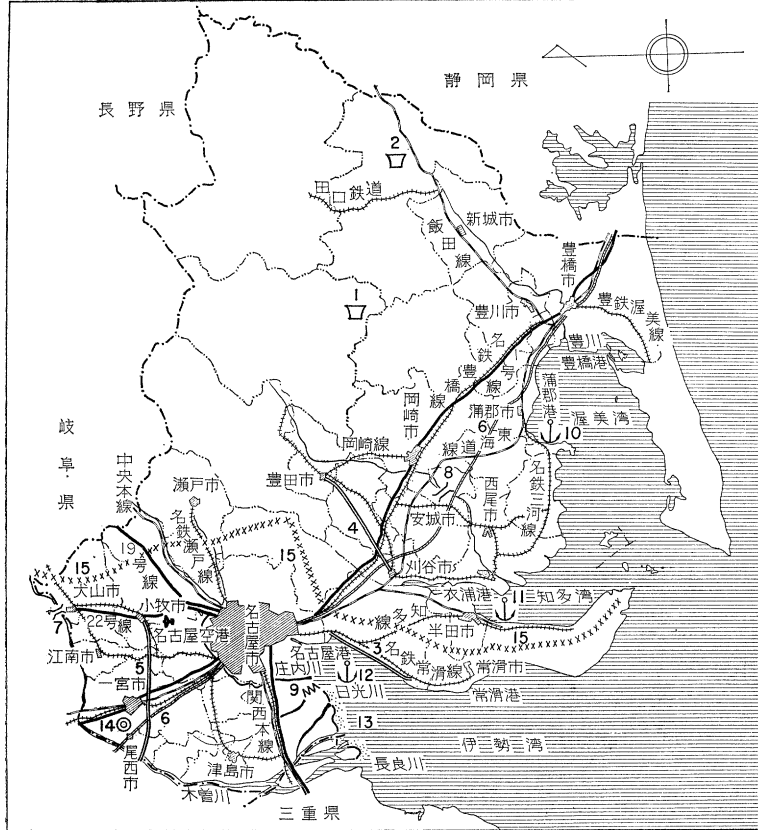
工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	御母衣ダム
	2	丸山ダム
	3	横山ダム
道路工事	4	県道 大垣—宮線
	5	名神高速国道 (関ヶ原工区)
鉄道工事	6	東海道新幹線
橋梁工事	7	笠田橋
	8	新長良橋

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
位置大野郡白川村 (越美南線 白鳥駅, 国鉄 バス 鳩ヶ谷行き 御母衣 駅)	大野郡白川村	4 600	ロックフィルダム, 高 130 m, 出力 215 000 kW, ロックフィ ルダムとしては日本最初のもの である。	電 源 開 発	間 組	1957.8~1961.10	
加茂郡八百津町 (高山線 美濃太田駅, バ ス 丸山)		1 188.5	多目的ダム, 高 97 m, 直線重力 形越流ダムで洪水調節を行なう, 出力 125 000 kW	関 西 電 力	間 組	1952.3~1954.4	
揖斐郡藤橋村 (大垣揖斐川近鉄電車 揖 斐川, バス藤橋)	揖斐郡藤橋村	530	多目的ダム, 高 81 m, 中空重 力式, 洪水調節, かんがい用水 の補給 出力 38 500 kW	建 設 省	間 組	1959.4~1964.3	
大垣市, 安八郡安八町 (国鉄 大垣駅)	大垣土木出張所 大垣市丸之内	129	大垣・羽島間, 延長 9 900 m, 巾員 9.0 m の新設道路でこの 内揖斐川および長良川の 2 橋は 道路公団による有料橋として建 設する。	岐 阜 県 道 路 公 団	道 路 岐建木村組 橋 梁 大日本土木 滝上工業 高田機工	1960.8~1963.3	
不破郡関ヶ原町 (国鉄 関ヶ原駅)	関ヶ原工事事務所 不破郡関ヶ原町	240	道路公団施行による有料道路で 現在, 関ヶ原工区を工事中であ る。 延 長 13 160 m 巾 員 24.4 m	道 路 公 団	西 松 建 設 熊 谷 組 地 崎 組	1961.9~1964.3	
				国 鉄			
羽島郡川島町 (岐阜より笠田行バス)	岐阜土木出張所 岐阜市梅林	19	上部工 5 径間連続トラス $L=343.5\text{ m}$ $W=6.0\text{ m}$ 下部工 鉄筋コンクリート, 潜 函基礎	岐 阜 県	上 部 汽 車 製 造 下 部 白 石 基 礎	1958.9~1962.7	
岐阜市, 本巣郡穂積町立 会(東海道線 穂積駅徒歩)	岐大道路建設事務所 岐阜市司町	37	上部工 3 径間連続鋼箱桁 2 連 $L=442.3\text{ m}$ $W=8.0\text{ m}$ 下部工 鉄筋コンクリート, 潜 函基礎	岐 阜 県	上 部 一 下 部 大 豊 建 設	1960.10~1965.3	

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
右岸：上伊那郡中川村 左岸：上伊那郡松川町 (飯田線 伊那大島駅、バス) 長野市大字小鍋 (信越線 長野駅、バス)	上伊那郡松川町大島 (調査事務所)	ダム：830 発電所：89 (共用施設を ふくまぬ)	アーチ式コンクリートダム 高：110 m, 長：287 m	ダム：省 建設：省 発電所：県 長野県	未定	1963～1969	調査中
右岸：南安曇郡奈川村 左岸：安曇村 南安曇郡安曇村	長野市茂菅 (調査事務所) 東筑摩郡波田村 (建設準備事務所)	ダム：205 発電所：173 総計 4855 3276	アーチ式コンクリートダム 高：85.5 m, 長：231.7 m	東京電力	未定	～1967	調査中
右岸：南安曇郡奈川村 左岸：安曇村 南安曇郡安曇村		1169	アーチ式コンクリートダム 高：155 m, 長：367 m アーチ+重力式コンクリートダム 高：90 m, 長：399 m	〃	〃	着工の日から 8年間で竣工 予定	調査中
〃		410	重力式コンクリートダム 高：57 m, 長：204 m	〃	〃		
小島郡真田町		70	重力式コンクリートダム 高：42.7 m, 長：145 m	長野県	未定	1964～1966	調査中
茅野市大字ちの～ 茅野市大字北山	茅野市大字北山	40	長：24736 m 巾：5.5 m, トンネル：60 m 橋梁：3 立体交差：3	長野県	飛島土木 外4社	～1962	工事中
上高地～南安曇郡三郷村	長野市	134	長：24.8 km	道路公団 建設省	未定	1961～1966	調査中
	西筑摩郡	改良：410.0 舗装：112.4	改良：59275m, 橋梁：1480m 舗装：66155m	〃	〃	1961～1966	調査中
	山梨県甲府市	改良：641.5 舗装：200.1	改良：116806m, 橋梁：1567m 舗装：147657m	〃	〃	1961～1966	調査中
	長野市小市～ 上水内郡牟礼村 (信越線 長野駅 牟礼駅)	改良：881.3 舗装：66.1	改良：32198m, 橋梁：275 m 舗装：39103m	〃	〃	1961～1966	調査中
	長野市鏡賀中堰	改良：94.3 舗装：43.9 計：138.2	長：24736m, 巾：9.0～11.0 m 橋梁：2, トンネル：1 立体交差：1	〃	〃	～1964	工事中
	清水上田線 佐久市～山梨県界 名古屋塩尻線 塩尻市～愛知県界 飯田市～愛知県界 軽井沢諏訪線 佐久市～小島郡長久保新町 福井松本線 松本市南～南安曇郡安曇村	4.3	長：1.9 km, 巾：5.5～6.5 m	長野県		1962.3～1963.4	5カ年計画 により工事中 (1961～1966) のうちの1962 年度分である 工事箇所がと ぎれとぎれな ので図面には 記入しない。
	北佐久郡軽井沢町 (第三工区)	全体 270 県内 6.3 (電気関係は ふくまない)	長：8.8 km (県内 0.32 km) 隧道：5.4 km (県内 0.28 km) 橋梁：0.22 km (県内なし)	国 鉄	鹿島建設 (第三工区)	1961.4～1963.6	くわしくは Vol. 47. 6 群馬県の特 参照
長野市～上高井郡若穂町	須坂建設事務所 須坂市	28.9	長：642.8 m, 巾：6 m	長野県	北野建設	～1966	工事中
中野市～飯山市	中野建設事務所 中野市	12.4	鋼ゲルバーガーダー 長：296.3 m, 巾：6 m	〃	守谷協会	～1964	工事中
伊那市上大島村	伊那建設事務所 伊那市	5.0	鋼ゲルバートラス丁桁橋 長：205.6 m, 巾：5.5 m	〃	豊田組	～1963	工事中
東筑摩郡波田村	松本建設事務所 松本市	8.4	鉄筋コンクリートゲルバー桁 長：216.9 m, 巾：6 m	〃	竹村組	～1964	工事中
飯山市	飯山建設事務所 飯山市	10.4	PC桁 長：2342 m, 巾：5.5 m 鋼ワレントラス, PC桁	〃	大同建設	～1965	工事中
駒ヶ根市～飯田市および 飯田線駒ヶ根～飯田間	中野地建天竜川上流 工事事務所 伊那建設事務所 飯田	142.8	天竜川本川筋河川復旧工事, 災 害復旧工事全般 大規模災害, 災害関連事業等	建設省 長野県 関係市町村 長野県	地元県外 業者多数 〃	～1962 ～1964	工事中
松本市(松本駅)	奈良井川改良事務所 松本市窪町	181.8 (第二期分)	改修延長：46.3 km 築堤護岸工など	〃	地元業者 多数	1941～	工事中
松本市安曇村		120		国民休暇村 協 ミドリ開発 東洋観光 木曾駒高原 開発	未定	～1963	調査中
北佐久郡御代田町 茅野市蓼科 木曾福島町正沢原	北佐久郡御代田町 西筑摩郡日義	22.7 30 15	18 ホール 1000 ha 18 ホール	〃	〃	1962～ 1961～ 1962～	調査中
北佐久郡軽井沢町 (信越線 信濃追分駅)		20	12 700 ha 観光用地として分譲	長野県	小林建設	1962	
長野市鶴賀柳原	長野市鶴賀柳原	36	給水人口約17万人 諸施設増設	長野市	小出建設, 外	1957～1963	創設1912年 工事 調査中
上田市～東北村 11カ市町村	長野県市内	180	計画給水人口, 約16万人	長野県	未定	1963～1967	調査中
長野市川合新田	長野市鶴賀柳原	35	分流式, 高級処理, 計画処理人口：約7万人	長野市	大正コン クリート, 外 島羽営業, 外	1953～1965	工事中
松本市	松本市役所内	32	分流式, 中級処理, 計画処理人口：約4万人	松本市	〃	1956～1967	工事中
飯田市松尾新井	飯田市役所内	12	高速散布濾法, 計画処理人口：約2万人	飯田市	〃	1953～1959	工事了
長野市安茂里および東北 郡東北村 下伊那郡松川町元大島		5 4.5	住宅用地 30000 ha 工場用地 30000 ha	長野県	未定	1962～1963 1962～1963	調査中
北佐久郡軽井沢町 (信越線 軽井沢駅)	岩村田建設事務所 佐久市岩村田	30	総面積：232000 ha 公共用地：26.3% 道路延長：17 km	長野県	未定	1962～1965	
飯田市県町上郷村	飯田市常盤町	21	総面積：92000 ha 公共用地：27.3% 道路延長：7.7 km	〃	〃	1961～1964	水害復興
長野市昭和通り	長野市岡田	15	延長：270 m, 巾：27 m アングクロス	〃	未定	1962～1963	調査中
更 塚 市	更塚市桜堂	55	頭首工：1万方 用水路：22 km	長野県	前田建設	1952～1967	工事中
松本市, 塩尻市 外8カ町村	松本市鷹匠町	1250	取水口：3カ所, 幹水用水路： 80 km, 開発面積：11万 ha	〃	未定	1965～1971	調査中
松本市, 塩尻市	松本建設事務所 松本市	35	滑走路：1500 m 〃 巾：30 m 着陸帯：1620 m 〃 巾：120 m	長野県	未定	1961～1963	調査中

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
磐田郡佐久間町 ①(国鉄 飯田線 中部天 竜駅、バス) ②(天竜市より直通バス)	電源開発 佐久間発電事務所	3 200	重力式、堤高 150 m、堤頂長 294.0 m、 堤体積 1 060 000 m ³ 、発電力最大 35 万 kW、常時 97 000 kW、総貯水量 326 848 000 m ³ 、有効貯水量 205 444 000 m ³ 、導水路 l=1 118 m 2本	電源開発	間組 熊谷組	1953.4~ 1956.5	既設
大井川水系大井川筋 安倍郡井川村大字井川 ①静岡市より直通バス、④ 静岡鉄道、③大井川鉄道、 ②中部電力社有、②東海道 線金谷駅より大井川鉄道 安倍郡井川村大字田代字 土草利 静岡市より直通バスあり 1. 静岡鉄道 2. 大井川鉄道 3. 中部電力社有 東海道線金谷駅より大井 川鉄道	中部電力静岡支店 静岡市大通り	1 530	中空重力式堤高 100.0m、堤頂長 243.0 m、堤体積 421 950 m ³ 、発電力最大 62 000 kW、常時尖頭 21 500 kW、総 貯水量 150 000 000 m ³ 、有効貯水量 125 000 000 m ³	中部電力	間組	1952.7~ 1957.9	既設
畑 1 に同じ	畑 1 に同じ	1 530	中空重力式コンクリートダム 堤高 125.0m、堤頂長 275.0m、堤体 積 587 000 m ³ 、発電所：ダム揚水式 (畑 2 調整池より揚水)、最大出力 85 000 kW、常時出力 6 600 kW、貯 水池：総貯水量 107 400 000 m ³ 、有効 貯水量 80 000 000 m ³ 、揚水設備を併 用し、畑 2 調整池より揚水し、尖頭 負荷時に発電する 42 500 kW の増 設、発電所は越流部の下にある。	中部電力	間組	1957.10~ 1962.11	
畑 1 に同じ	畑 1 に同じ	1 100	中空重力式コンクリートダム 堤高 69.0m、堤頂長 170.0m、堤体 積 155 000 m ³ 、発電所、ダム水路式 発電力最大出力 85 000 kW、常時出 力 23 600 kW、導水路 l=5 176 m、 径 6.0m、調整池：総貯水量 11 400 000 m ³ 、有効貯水量 3 600 000 m ³	中部電力	間組 大成建設 鹿島建設	1957.10~ 1961.10	竣工
熱海峠~鹿路庭	伊豆スカイラインパ ーウェイ建設事務 所 田方郡大仁町田京	190.0	延長 40 km、巾員 8.0m 有効巾員 6.0m、(2車線) アスファルトコンクリート舗装規格 一般自動車道 5級	静岡県 道路公社	青木建設 組 日本国土開 発	1960.9~ 1963.7	
伊東市~下田町	静岡幹線工務局 静岡市黒金町	830.0	静岡県下の総延長 l=171 308 m トンネル：500m 以上、13ヶ所 内：丹那 7 905 m、蒲原 4 880 m 橋梁：富士川 1 199 m 大井川 987m、天竜川 963m	国鉄	鹿島、間、 熊谷、大林 組、西松建 設、外	1960.1~ 1961.12	1961.12.10 開通
田方郡修善寺町	県三島土木事務所	10.336	鋼補剛アーチ橋の水平力を橋台で受 け補剛橋を格子構造としてある。 橋長 101.0 m 巾員 9.50 m、有効巾員 6.50 m	静岡県	上部 横河橋梁 下部 静和工業	1959.7~ 1960.3	
分水地点 伊豆長岡町間之上 放水口地点 沼津市口野 江の浦湾	建設省沼津工事事務 所 沼津市上香貫東本郷	406.2	狩野川の計画排水量 4 000 m ³ /s の 内 2 000 m ³ /s を分水する。 放水路全延長 2 860 m 内開水路(3ヶ所) 1 800 m、トンネ ル(2ヶ所) 1 060 m、トンネルは 3連	建設省		1951~1963	
富士市田子、吉原子鈴川	静岡県富士臨海地区 総合開発事務所 富士市水戸島	643.0	掘込式港湾、防波堤西 150m、東 50 m、港口巾 210m、航路巾 130m、 水深 7.5m、泊地 365 m ² (h=7.5 m)、岸壁 3 000 総トン級 10 パース、 1 000 総トン級 8 パース 泊地航路液渾土 3 779 000 m ³ 埋立地造成 666 500 坪	静岡県	大豊建設	第 1 期工事 1957~1961 第 2 期工事 1965	
富士川および狩野川河口 間	県富士土木事務所 富士市本市場 県沼津土木事務所 沼津市三枚橋平町	103.3	昭和 34 年、伊勢湾台風により被災 堤防高 13.0 m 工事延長 17 588 m 浸蝕いぢるしい工区に根固工とし て 5.5~10 t の六脚ブロック使用	静岡県	勝呂組 外 16 社	1959~1964	
静岡市、清水市	静岡工業用水事業所 清水市上原 134	25.0	水源地：安倍川伏流水(河口上流 12 km) 取水施設：多孔ヒューム管 φ 900 l=70m 送水管：1 500 m 配水管：φ 500~φ 900 11 600 m 15 の農業用水事業と共用、富士臨海 地区の工業用水の補給用水源、富士 川とその支流芝川の合流点の中電芝 富発電所放水路 取水量 10 135 m ³ /s の内 1.3 m ³ /s 延長 7 100m、ヒューム管 φ 800~ 1 800 mm、-l=6 900 mm	静岡県		1960~1963	
芝川町(取水口) 富士、吉原市	富士川用水建設事業 所 富士市水戸島 400	全体 83.375 工業用水 -29		静岡県		1961~1965	
広岡町、富士宮市、吉原 市	静岡県富士臨海地区 総合開発事務所 富士市水戸島	58.8	岳南地区の製紙、パルプの汚水専用 排水路。排水路は管渠、函管で計画 排水量は、1号：4.8 m ³ /s、2号： 4.2 m ³ /s、3号：5 m ³ /s 全延長 14 460 m 浄水後、河川あるいは海へ放流す る。	静岡県		第 1 期 (1号排水路) 1957~1961 第 2 期(2号) 1960~1962	
芝川町(取水口) 受益地区富士市内水田	富士川用水建設事業 所	農業用水 業 13.6777	取水量 8 834 m ³ /s 水路：ヒューム管 φ 1 200~1 500 mm、l=835 m コンクリート函渠 l=4 553m 受益面積 1 258 ha 水源は中部電力 KK 川口発電所放水 路より、取水量 39.0 m ³ /s、受益面 積 10 876 町歩、水路はトンネル水路 橋、開水路、伏越工 l=44 km、水 路橋 l=700m 通水量 10.22m、PS 衝函渠	静岡県		1957~ 1962.3	
大井川下流沿岸および菊 川、逆川にまたがる	大井川農業用水事業 所 島田市幸町	国営 370 県営 144		幹線部 省部 農林 支線 静岡 県		1946~1961	
由比町(由比駅より徒歩)		応急 工事費 19.5	排水量 68 543 m ³ 、水路工(鉄線蛇 籠水路) l=900m、水路巾：底巾 1.26m、上巾 5.5m、深 2.12m、 底巾 2.46m、上巾 6.7m、深 2.12m	静岡県 国鉄	大成建設	1961.4~ 1961.9	

愛 知 県



工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	矢作川農業水利事業 (羽布ダム)
	2	豊川用水事業 (手運ダム)
道路工事	3	2級国道 名古屋半田豊橋線バ イパス建設工事
	4	主要地方道半田豊田 線舗装新設工事
	5	名神高速道路
鉄道工事	6	国鉄新幹線
橋梁工事	7	ライン大橋架設工事 (仮称)
	8	美矢井橋架設工事
河川工事	9	日光川河口締切工事 (高潮対策事業)
港湾工事	10	蒲郡港高潮防波堤事 業
	11	衣浦港臨海用地対策 事業
	12	名古屋港整備事業
海岸保全	13	伊勢湾高砂対策事業
下水道	14	都別都市下水路事業
その他	15	愛知用水事業

愛 知 県 の 概 要

諸 元 表 (36.10.1 現在)

市 の 数	面 積	人 口	36 年 度 予 算
23	5057.48 km ²	4 206 313 人	一 般 612 億 9 686 万円 交付金 —

名古屋港の建設

躍進に躍進を続ける名古屋港は、本年度も100余億円の巨費を投じて日夜間断なく名古屋港建設譜を高らかに奏でているが、それでもなお瞬時にして追越されるほどである。一月約1万m²陸地が造成され、泊地・航路も広く深くなり、繫留ブイの増設、埠頭の建設、臨港線陸上施設の整備と共に、災害から守るための高潮防波堤・防潮壁・逆潮扉門などの防災工事も日に夜をついで進められている。開港以来50余年世界の一流港として躍進する名古屋港建設の一端を紹介し、参考の資となれば幸いである。

○港湾計画の概要

中京工業地帯のいちじるしい発展にともない本港の取扱貨物量は大巾に増加し、35年には入港船舶数1万1千隻、2750万総tにもおよぶ港勢の進展を示し、今後もなおいちじるしく増加するものと考えられ、45年には約3965万tに達するものと推定される。

一方、昭和34年6月、東海製鉄KKの鉄鋼一貫工場が本港上野、横須賀町地先埋立地に建設される事となり、これを契機として各種企業の進出意欲は一段と旺盛になった。このような貨物量の増加、臨海工業の規模の拡大ならびに入港船舶の大型化の趨勢に対処し、あわせて伊勢湾台風災害にかんがみ港湾の防災に万全を期するため、特段の処置を講ずることとし、昭和45年を目途として航路、泊地の拡張、増進、臨海工業地帯の造成、13号地など商港埠頭の建設、高潮防波堤の建設などの計画が決定された。

都市別都市下水路事業

尾西地方における繊維工業は、当地方経済のバックボーンとして最も重要な産業であるが、染色整理工場、糸染工場、紡績工場より排出される大量の廃液は、ほとんど未処理のまま、直接あるいは間接にその周辺12000町歩の耕地に灌漑する宮田用水路、あるいは、日光川水系に放流しているため、工場側と農耕者、水産業者との間に紛争が絶えなかったため、これが抜

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
東加茂郡下山村字羽布	農林省矢作川農業利 水事務所 岡崎市朝日町	312		農 林 省			
南設楽郡鳳来町	名古屋市中区南外堀 町	3350	大野頭首工幹線水路	愛知用水 公 団			
愛知県上野町地内	愛知県土木部道路建 設課 名古屋市中区南外堀 町6～1	36年度 12	自動車専用道路	愛知県		1960	
愛知県刈谷市～豊田市	岡崎土木出張所 岡崎市 豊田土木出張所 豊田市	36年度 5	自動車工業の中心地である刈谷 市～豊田市の間の舗装の早期完成 をはかる	愛知県 道路公団			
				国 鉄			
愛知県犬山市 (名古屋鉄道 犬山遊園駅)	農林濃尾用水水利 事務所 犬山市大字山字中道	10.1	頭首工堰堤上にボックスガーダ ー1連合成桁13連を架設	農 林 省	上部工 滝上工業 下部工 熊谷組	1957～1963	L=420.0 m W=6.0 m
安城市河野町 } 立会 碧海郡六ツ美村 }	愛知県岡崎土木出張 所橋梁分所 岡崎市明大寺本町	31	パイルを主体とした下部工	愛知県		1959～1965	L=491.5 m W=7.0 m 本年道路会議に 報告書発表
名古屋市港区南陽町藤高 前 海部郡飛鳥村梅之郷立会	建設省中部地方建設 局愛知工事務所 名古屋市中区長島町	179	締切堤 650 m, 水閘門 110 m, (水門 10m×8 門, 閘門 7m×1 門) 河口締切による高沙の防禦	愛知県建 (中 部 地 建 託) 委	鴻池組	1955～1962.7	高潮対策事業お よび名四国道と の合併施行
蒲郡市	蒲郡市	36年度 37.3	方塊据付台にプレバクトコンク リート使用	愛知県	本間組	1960～	
愛知県知多郡我妻町	愛知県土木部衣浦港 務所	36年度 118.8	埋立事業	愛知県	東亜港 徳倉建設		
名古屋市港区	名古屋市港区		鉄鋼埠頭建設, 工業港建設, 高 沙対策,	名古屋港管 理組合			現在, 稲永第二 埠頭, 鉄鋼埠頭 南部工業港など を施工中
県下の建設省所管海岸お よび河川の河口部の全般	名古屋市中区南外堀 町	816	高沙防禦, 海岸堤防	愛知県	矢作建設 工 業	1959～ 1963.7	
尾西市, 一ノ宮市, 木曾 川町一円	尾西市役所内	200	工場廃水(染色および紡績関係) 専用下水道で導水路は全部管渠 流末に処理場を設ける	尾西持水管理 組合	渡辺組 一宮建設 松本組	1962～1968	公共水域汚濁防 止を目的とする
	名古屋市中区南外堀 町	4230	兼山取水口および幹線水路(ナイ フオンをふくむ)	愛知用水公団			

本対策として特別都市下水路事業を32年度より起し、工場汚水専用管渠を布設し、約120工場から排出される汚水をこれに集め、流末において処理した上で日光川に放流しようとするものである。その量は約70000m³/日で、処理方式については、活性汚泥法あるいはその変法で、または高速撒水濾床法でゆくかどうかをパイロットプラントで実験した結果をまけて決定する予定であるが、いずれの方法においても、色度の除去のため薬品強制沈殿を併用する予定である。

二級国道名古屋半田豊橋線バイパス建設事業

現在、名古屋南部臨海工業地帯は埋立造成面積約560万坪を、1区から4区に分け急ピッチで埋立造成が進められている。同臨海工業地帯における昭和55年の輸送需要のうち、道路を利用すると思われる輸送量は10994千t/年である。この多量な道路輸送需要に対処するため、産業道路的性格を有する自動車専用道路を同地帯に建設しようとするものである。昭和37年末までに2区まで供用開始させ、さらに3区、4区を引続い

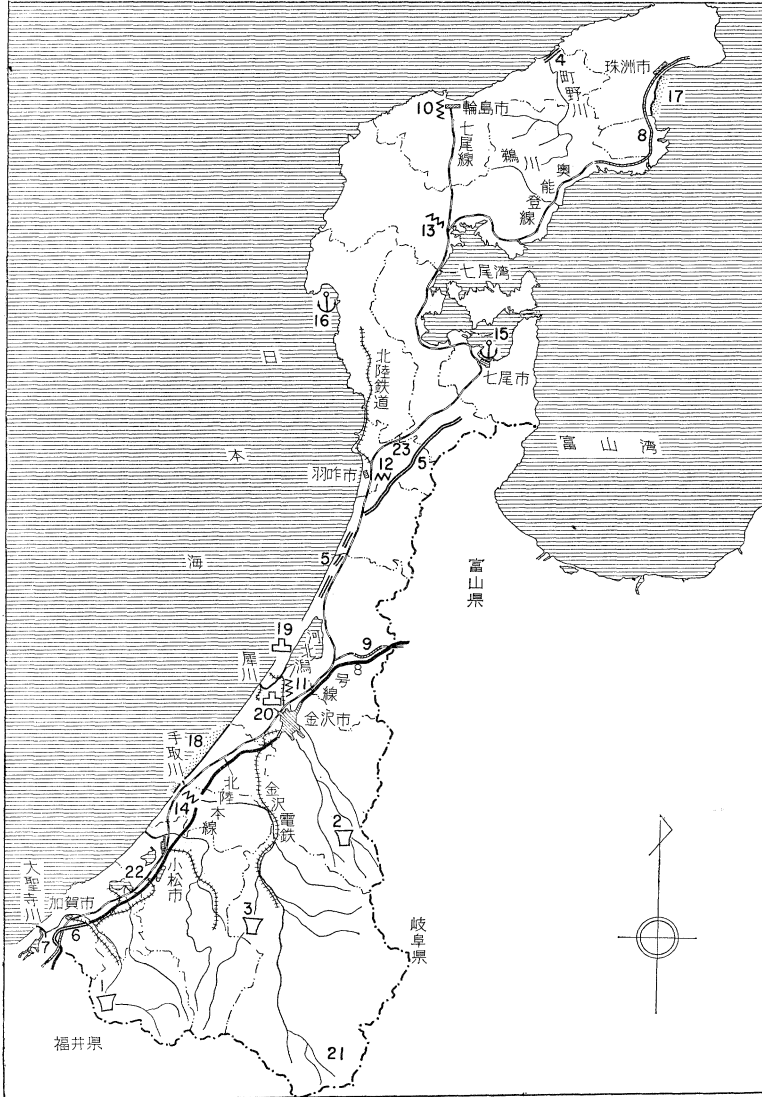
て完成させる予定である。計画概要は総延長約13km、工費約285千万円、の自動車専用4車線側道2車線である。

ライン大橋(仮称)架設工事

濃尾平野の「かんがい用水」としての役割を果たす宮田、木津、羽島の3用水はその水源を木曾川に求めているが、近時この各用水共、取水口付近の河床の低下がはなはだしく、また流心が移動したため、年ごとに取水に困難となってきている。このため農林省は濃尾用水事業として、これら3用水を合口し、犬山城直下の木曾川に取水堰堤を築造し取水の不安を除去すると共に、在来取水のために要した多額の維持管理費を軽減することを目的として、昭和32年度より着手し昭和38年度完成を目標として事業をすすめている。

ライン大橋は、この犬山城下流300mの地点に建設せられる頭首工堰堤上を道路橋を架設し、犬山市と鶴沼町とを都市計画街路として結ぶもので、両県の経済の交流に寄与するものであり、犬山市、鶴沼町、待望久しかったものである。

石 川 県



石 川 県 の 紹 介

石川県は北陸地方の中部に位置し、東は富山、岐阜、両県に南は福井県に接し、北は能登半島となって日本海に突出し西南から東方に向けて細長く東西 99.6 km、面積 4 193.98 km²、人口 973 397 で面積順位は全国中第 35 位である。特に快晴日数きわめて少なく、雨天多く夏季温度は高い。また冬季における降雪も非常に多い方である。産業は一口に言って農業と繊維である。特に、農業は早場米生産県として名高い。繊維工業は工場数約 2 900 で全工業出荷額の 39% を占めている。また特産品として九谷焼、輪島および山中塗漆器、金銀銅各種箔、自転車チェーン、加賀友禅および象嵌などがある。

本県は古来より北陸地方の文化的、政治

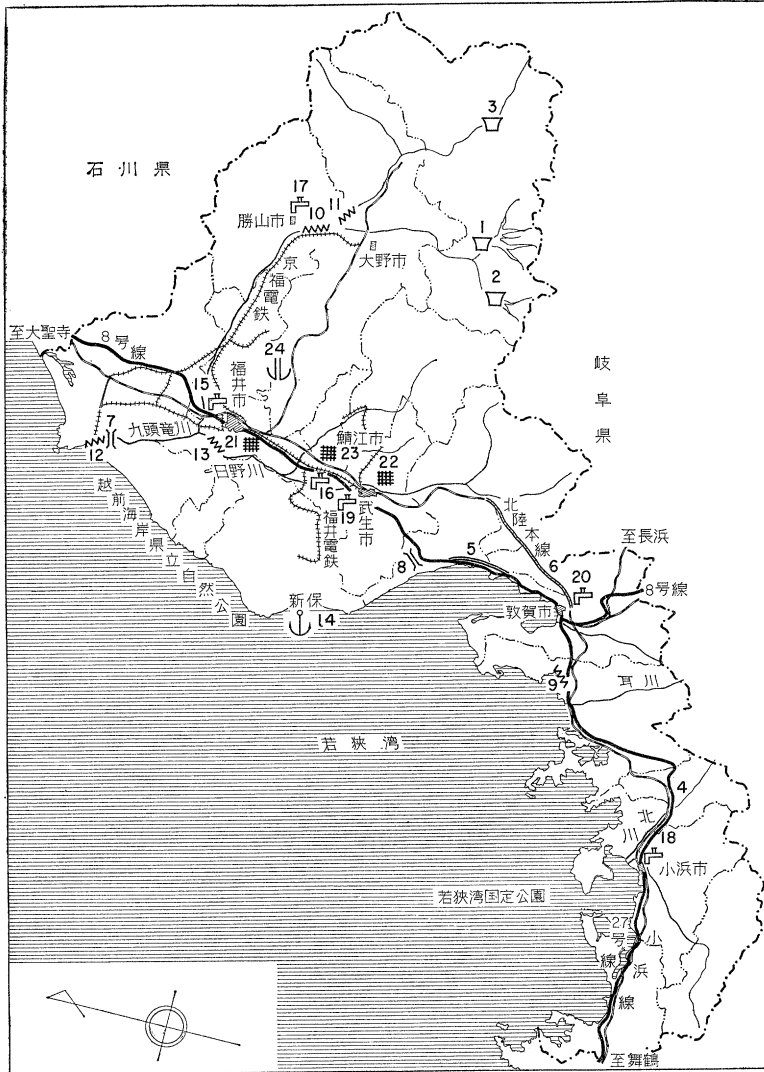
的中心として発展し育った地であり、今もその伝統は失われておらず加賀室生は著名である。

また本県は観光資源として白山火山脈系の山中、山代、湯涌など 10 か所を越す温泉をはじめ白山国定公園（近く国立公園に昇格）兼六公園など数多くの観光地を擁しており、最近能登半島、奥能登の風光が天下に宣伝されている。建設事業もまた北陸地方開発促進法と相まって能登地区の国土総合開発法による特定地指定および金沢市、小松市を結ぶ基幹都市建設計画などにより、県経済振興の基盤となる部門を受持ち、多方面にわたり活発なる事業を実施しているが、その主なる工事は図面に記載した通りである。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	大聖寺川総合開発事業
	2	犀川総合開発事業
	3	手取川農業水利事業
道路工事	4	道路改良工事
	5	舗装新設工事
	6	金沢国道改築工事
鉄道工事	7	北陸本線牛の谷大聖寺間路盤その他工事
	8	奥能登新線路盤その他工事
	9	北陸本線津幡俱利伽羅間路盤その他工事
河川工事	10	中小河川河原田改修工事
	11	中小河川浅野川改修工事
	12	中小河川子浦川改修工事
	13	中小河川小又川改修工事
港湾工事	14	手取川改修事業
	15	七尾港改修工事
海岸保全	16	富来漁港修築工事
	17	宝立正院海岸侵蝕対策事業
工業用地計画および住宅	18	松任美川海岸侵蝕対策事業
	19	内灘アカシア団地
砂防工事	20	金石団地
	21	甚之助谷地すべり防止工事
その他	22	加賀三洲干拓建設事業
	23	邑川潟干拓建設事業

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
江沼郡山中町我谷	大聖寺川総合開発建設事務所 江沼郡山中町栢野	全体 201 36 24	洪水調節、発電、農業の多目的ダムの建設、高 50.0 m、長 126 m、堤体 72 000 m ³	石川 県	熊谷組	1958～ 1963.3	ダム工事費 131千万円
金沢市二又新町	金沢市総合開発部 金沢市広坂通り	全体 531 36 5	洪水調節発電農業、上水道、工業用水の多目的ダムの建設、高 74.5m、長 183m、堤体積 194 000 m ³	石川 県 (<small>金沢市他</small>)		1960～ 1966.3	ダム工事費 193千万円
石川郡鳥越村字阿手	手取川農業水利事務所 石川郡鶴来町大園町	全体(ダム) 485 36 55	農業発電用ダム建設、高 58 m、長 231m、堤体積 289 000 m ³	農林省	鹿島建設	1951～ 1967.3	
輪島市町野町曾々木	輪島土木出張所 輪島市河井町	7	トンネル 92m および 253m 2カ所をふくむ、延長 680m の改修	石川 県	北都組	1960～ 1963.3	
河北郡津幡町～鹿島郡鹿島町	金沢土木出張所 羽咋土木出張所 七尾土木出張所	全 26 36 18	延長 21.4 km 舗装	〃	日本舗道外	1960～ 1961.11	
加賀市大聖寺町	北陸地建石川国道工事事務所 金沢市泉本町	61	国道新線建設工事	建設省	小松扶桑建 新日本土木	1961～ 1962.3	
北陸本線福井石川県境～大聖寺	国鉄岐阜工事事務所 大聖寺工区 加賀市能坂町	35	複線および電化にともなう工事	国 鉄	酒井建設工	1961～ 1963.2	
珠洲郡内浦町～珠洲市飯田町	内浦町小木 小木工事区 珠洲市鶴岡町 鶴岡工区	40	奥能登新線新設工事	〃	鉄道建設工業村上建設 酒井建設工業北都組	1959～ 1962.12	
河北郡津幡町俱利伽羅	国鉄岐阜工事事務所 石動工区 富山県石動町	61	複線化工事、延長 4 946 m	〃	鉄道建設工業	1961.9～ 1962.8	
輪島市鳳至町～河井町	輪島土木出張所	全体 31 (36) 1	十字ブロックによる護岸工法	石川 県	昭建建設	1957～ 1962.3	
金沢市瀬上町～並木町	金沢土木出張所	全体 74 (36) 4	可動堰による河動低下工事	〃	酒井工業	1955～1970	
羽咋市大川町	羽咋土木出張所	全体 60 (36) 2	六脚ブロック工法による導流堤	〃	日本海建設	1953～1975	
鳳至郡穴水町川島	輪島土木出張所	全体 57 (36) 1	新川掘削による河川改良	〃		1961～1975	
石川郡美川町～鶴来町	北陸地建手取川工事事務所	全体 200 (36) 8	タワーエクスカベータによる土砂浚渫	建設省	直 轄	1934～1970	
七尾市矢田新町	運輸省七尾港工事事務所 七尾市府中町	全体 39 (36) 4	矢板式 7.5 m 岸壁を欄式矢板工法により 9.8 m 岸壁に改造	運輸省		1961～1965	
羽咋郡富来町字風戸	羽咋土木出張所 羽咋市中央町	全体 20 (36) 3	テトラポットによる防波堤築造	石川 県	日本海建設	1951～1962	第四種漁港
珠洲市宝立町野々江町	飯田土木出張所 珠洲市飯田町	全体 17 (36) 4	枕打ブロック工法の突堤築造	石川 県		1952～1962	
石川郡松任町浜安原 能美郡根上町湊	建設省手取川工事事務所 金沢市大手町	全体 200 (36) 3	基礎矢板打重力式擁壁護岸工法	建設省		1961～1980	
河北郡内灘村	石川県土木部建築課 金沢市広坂通り	8	住宅 245 戸の団地建設	石川 県 住宅公社	公社直営	1959.11 竣 工	
金沢市金石町	石川県土木部建築課 金沢市広坂通り	10	サンドポンプによる埋立	〃 〃	日本海建設	1961.12 竣 工	住宅 392戸 建 設
石川郡白峯村字白峯	建設省手取川工事事務所 金沢市大手町	全体 26 (36) 1	排水ボーリング工、砂防ダム補強	建設省		1961～1975	
小松市符津町	加賀三湖干拓建設事務所 小松市符津町御幸	全体 200 (36) 24	捷水路(竣工)にともなう導流堤工事 サンドポンプによる締切堤築造	農林省	鹿島建設 株木建設	1952～1964	
羽咋市、千田、吉崎	邑知満干拓建設事務所 羽咋市島出町	全体 131 (36) 15	締切堤築堤揚水棧場建設、干拓にともなう河川改修	〃	穂積建設 佐藤工業	1947～1964	

福 井 県



福井県の将来の計画と抱負

1. 道路関係：1級国道8号線のバイパス丸岡町長畝一武生間有料道路延長 35.38 km, 巾員 9~11 m, 工費 408.5 千万円と北陸縦貫高速自動車道新潟・富山・石川・福井・滋賀5県を通る延長は 550 km うち福井 66.7 km 工費は 41 810 千万円 2車線, 巾員 7.2 m 往復 4車線の予定。

2. 河川関係：九頭竜川水系電源開発計画, 大野郡和泉村後野にコンクリート重力式ダム 25 万 kWh 工費 3 270 千万円 北電KK, 長野にロックフィル

ダム 34.7 万 kWh 工費 3 630 千万円 電発KKがある。

3. 港湾関係：中部運河計画 福井(敦賀)・滋賀・愛知・岐阜・三重(四日市) 107 km, 3 万 t 級船舶航行可能 工費 2 400~35 000 千万円程度と敦賀港整備事業敦賀市49.5千万円の工費で 1 万 t 岸壁。三国港整備事業 坂井郡三国町工費 130 千万円の計画がある。

以上福井県の将来計画であって今後大いにその開発と建設を推進せねばならない。

工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	笹生ダム
	2	雲川ダム
	3	長野ダム
道路工事	4	1級国道27号線改築工事
	5	有料道路敦賀道路工事
鉄道工事	6	敦賀今庄間線路増設工事
橋梁工事	7	橋梁整備事業
	8	橋梁整備事業
河川工事	9	海岸災害復旧工事
	10	河川災害復旧工事
	11	河川災害復旧工事
	12	九頭竜川第6掘削工事
	13	日野川第18掘削築堤
港湾工事	14	四ヶ浦漁港修築事業
上水道および工業用水	15	福井市水道九頭竜川水源拡張工事
	16	鯖江市水道新設工事
	17	勝山市水道新設工事
	18	小浜市水道新設工事
	19	武生市水道新設工事
	20	敦賀市水道新設工事
都市計画	21	重要幹線街路事業(立体交差)
	22	重要幹線街路事業(立体交差)
	23	鯖江市都市計画長泉寺水落土地区画整理事業
土地改良	24	足羽川地区用水改良工事

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
大野郡西谷村			重力ダム：堤高 76.0m, 堤長209.8m, 堤体積 224 519 m ³	福井県	熊谷組	1957.11	
大野郡西谷村			目的, 洪水調節, かんがい, 発電 アーチダム：堤高 39.0m, 堤長 95.0m, 堤体積 18 352 m ³	福井県	清水建設	1957.2	
大野郡和泉村			重力ダム：堤高 114.0m, 堤長 336.0m, 堤体積 816 000 m ³	北陸電力		1965.3	
敦賀市高浜町	敦賀国道事務所 敦賀市	300	W=6.5, L=80 km アスファルト舗装, 路盤ソイルセメント, 橋梁: P S L=70 m 2カ所	建設省		1961~1965	
敦賀市大字杉津~南条郡河野村大字大谷	敦賀市	80.6	5.2 km, W=6.5m, 総巾員 8.0m 最小半径 30.0m, 最急勾配 6 % 舗装アスファルト 10 cm 約 31 000 m ² , 橋梁 7カ所, トンネル 1カ所 735m, 小道 170m	道路公団	地崎組 星野土木 木原建設 照明: 河瀬電気 舗装: 成和土木	1959.7.16~ 1962.5.未	
敦賀市谷口~今庄町板取	福井県敦賀谷口, 鉄輪, 栗原 今庄町板取, 下新道	780	L=13 870 m 世界第五位 複線トンネル	国鉄 岐阜工務局	西松建設組 熊谷建設工業組 大成藤林	1957.9.21~ 1962.3.31	
坂井郡三国町新保	三国町上錦	25	ワーレントラス 60×7, 鋼合成桁 30×4, 基礎: Hパイル使用	福井県	未定	1962.6~ 1965.12	
京福電鉄三国駅より徒歩	三国土木出張所						
南条郡河野村赤萩	福井市松本中町 近畿地建福井工事事務所	3	バランスドアーチ L=135 m	建設省	未定	1962.4~ 1962.11	
三方郡美浜町今市佐田	敦賀土木出張所	12.8	中空三角ブロック 根固コンクリート擁壁護岸	福井県	川島組	1961.12~ 1962.3	
勝山市下荒井	大野土木出張所	4.8	根固六脚ブロック 護岸基礎方塊コンクリート	〃	第一土木 工	1961.10.31 ~1962.6.30	
大野市土布子新河原	大野土木出張所	3.1	根固六脚ブロック 導流塊六脚ブロック	〃	城地組	1961.10.14 ~1962.6.30	
三国町新保	福井工事事務所	1.9 (精18,500 直 190)	110 000 m ³ (浚渫船)	建設省	若松築港	1961.12.27 ~1962.3.31	
福井市下市, 三郎丸, 西下野	福井工事事務所	2.8 (精26,000 直 200)	築堤 3 350.5 m, 37 100 m ³ 掘削 90 000 m ³	〃	臨海土木	1961.10.27 ~1962.3.31	
福井県丹生郡越前町新保(織田駅, バス)	福井県四ヶ浦漁港修築事務所	1.9	ケーソンにて防波堤築造 L=16 2基	福井県	関組 笠原	1961.6.28~ 1961.9.11 1961.6.28~ 1962.3.31 1961.6.28~ 1961.11.14 1961.6.28~ 1961.9.9	
福井市東北部下北野町および原目町	福井市水道局 福井市御屋形町 8	50.0	水源池, 配水池	福井市	久保田水道 熊谷組	1960.4~ 1964.3	
鯖江市	鯖江市役所 鯖江市上小路墨形町20	14.2	水源池, 配水池, 配水管	鯖江市	久保田水道	1959.4~ 1962.3	
勝山市(国鉄 福井駅より京福電鉄 勝山駅)	勝山市役所 勝山市下元禄 14-9	11.0	水源池, 配水池, 配水管	勝山市	第一土木	1959.4~ 1962.3	
小浜市	小浜市役所 小浜市上竹原 12-32	11.1	水源池, 配水池, 配水管	小浜市	日本水道	1960.4~ 1963.3	
武生市	武生市役所 武生市浪花町14	22.0	水源池, 配水池, 配水管	武生市	木原組	1961.4~ 1966.3	
敦賀市	敦賀市役所 敦賀市桜町 7-1	21.0	水源池, 配水池, 配水管	敦賀市	未定	1962.4~ 1965.3	
福井市春日町, 豊町地係(福井駅)	福井土木出張所 福井市大手町148	8.6	L=237.4m, 巾 19.0m こ道橋 1カ所	福井県	辻広組 川田工業	1960.6.1~ 1962.5.31	
武生市東元町, 北府本町地係(武生駅)	武生土木出張所 武生市錦町	10.0	L=319.0m, 巾 11.0~9.5m こ線橋 2カ所	〃	関岩居工業 日本 P S	1961.7.1~ 1963.3.31	
鯖江市(福武鉄道 下鯖江駅)	武生土木出張所	14.78	丘陵地開発による宅地造成	〃	直営	1958~1962	
越美北線 東郷駅	県営足羽川地区土地改良事務所 福井県足羽町東郷	36.3	足羽川に堰堤を新設する 幹線用水路の装備	福井県	山形組	1953~1962	

NTK-4 WKH 型バケット ドーザ

ここに紹介する新製品バケットドーザは農林省が大圃場整備事業用として、日特金属工業KKの協力ののもとに製造されたものである。しかし、用法によっては、かなり広範囲の土木、建築工事にも補助機械として使用できるものと思われるので、以下この機械の概略と利用法について紹介する。

1. 仕様

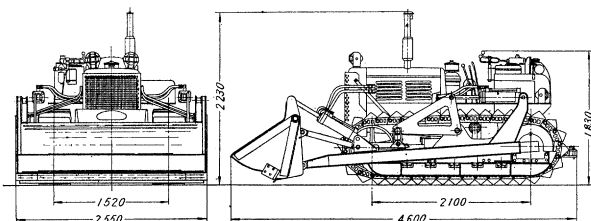
本機のおもなる仕様はつぎのとおりである。

表-1 NTK-4 WHE 型バケットドーザ仕様

総重量	8 400 kg	バケットド ーザ装置	—
機関出力	57 ps	土工板	—
けん引出力	45 ps	巾×高さ	2 480×800 mm
性能	—	エプロン型式	二重底型式
前進 4 段	2.7~8.6 km/h	巾×高さ	2 480×1 100 mm
後進 2 段	3.1~6.3 km/h	容量	1.00 m ³
寸法	—	揚卸量	—
全長	4 600 mm	上昇	850 mm
全巾	2 550 mm	下降	300 mm
履帯中心距離	1 520 mm	ダンプ角度	65°
接地長	2 100 mm	操作方式	全油圧方式
履帯形状および巾	三角形 450 mm	—	—

注：履帯は 380 m/m グローサー シューと交換装着が可能である。

図-1 NTK-4 WHE 型バケットドーザ分解図

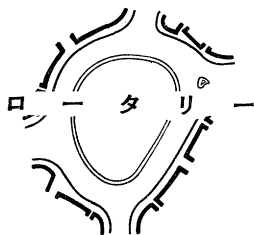


2. 特徴

バケットドーザはブルドーザにスクレーパーの要素を取り入れたもので、従来のブルドーザの効率的運土距離はせいぜい 50 m ほどであったが、バケットドーザは 100 m 前後までの運土作業を効率的ならしめるように設計されたものである。

施工上の特徴、性能をあげると次のとおりである。

(1) 従来のブルドーザのように押土作業でなく土砂をくわえ込むいわゆるスクレーパーするのでローディング後、トップスピードで運土することができる。このため運土距離が 50 m 以上となった場合はブルド



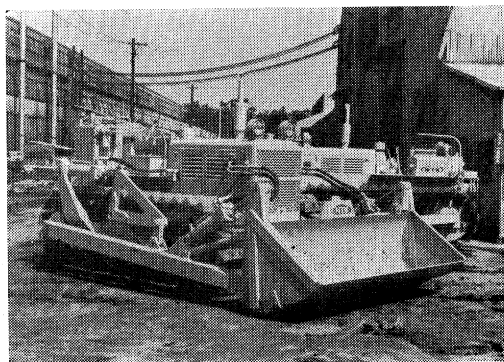
ーザに比較していちじるしく高能力を発揮する。

(2) 表土のはぎ取り作業に適合し、ブルドーザのような運土上のロスがない。

(3) 排土板前部に取り付けられたエプロンの開度を調節することによって、これがソリの役目をし、土層の薄層切削が可能となっている。

(4) 工事場におけるコーナー作業、道路などの盛土造成、土量の後方運土作業などの従来のブルドーザで不可能であった作業が可能である。

NTK-4 WKH 型バケットドーザ全景



(5) 圃場、敷地造成作業などの場合にレベルを出すことが従来のブルドーザより容易にできる。

(6) エプロンをいっぱい開いたままで作業すればブルドーザと同様の作業ができる。

3. 試験圃場および水田における実績

図-2, 3 および 表-2, 3 のデータは、農林省農地局設計課相模圃場において調査試験されたものである。

図-2 調査田土質柱状図

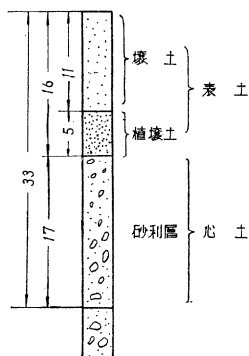


図-3 作業能力比較図

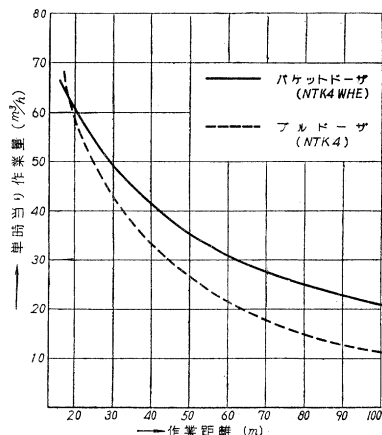


表-2 圃場調査成績表

項目	区画別						平均	項目	区画別						平均
	20m区	40m区	60m区	80m区	90m区	平均			20m区	40m区	60m区	80m区	90m区	平均	
調査月日	36.11.15	36.11.30	36.11.15	36.11.30	36.11.16		調査月日	36.11.15	36.11.30	36.11.15	36.11.30	36.11.16			
調査時間 (時計時間 (min) アワメータ)	60	60	60	60	60	60	作業速度 (m/sec)	前進 後進	0.57 0.96	0.49 2.08	0.39 1.93	0.47 2.14	0.46 1.95	0.48 1.81	
	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		掘削	1.25	1.55	1.63	1.61	1.72	1.55	
土質	関東ローム						時間当り 作業量 (m ³ /h)	自然状態 ルーズ	60.6 69.2	37.9 46.3	25.5 34.8	21.1 31.4	20.5 34.3		
傾斜度	平たん						サイクル 当り 運搬 量 (m ²)	自然状態 ルーズ	0.63 0.72	0.74 0.91	0.58 0.79	0.64 0.95	0.62 1.05	0.64 0.88	
サイクル数	96	51	44	33	33		燃料消費量 (l/h)	12.0	8.8	11.7	9.7	9.9	10.4		
作業巨離 (平均) (m)	掘削	11.9	8.4	7.4	9.4	7.5	オペレータの条件 (ブルドーザ運転経 験時間) (h)	500	600	500	600	500			
	運搬	12.0	41.9	50.8	77.1	82.3									
サイクル タイム (平均) (sec)	掘削	21	17	19	20	16	備考	前進において96サイクル中スケレ ープ作業は38回ドー ジング作業は58回である							
	運搬	13	20	26	36	42		掘削区 間をリッ パで膨 軟とす る							
	後進	13	33	37	54	52									
	計	47	70	82	110	110									

表-3 現地調査(水田)成績表

作業別	項目	作業土量 (自然状態)	所要時間	時間当り 作業量	平均 作業距離	時間当り換算 アワメータ	時間当り燃 料消費量	土質	備考
表土集積		43.1m ³	85 min	30.6 m ³ /h	30.0 m	0.6	0.8 l/h	壤植 土	バケツ運搬およびドー ジング作業を併用して行 なう
砂利層除去		45.8	176	15.6	70.0	1.0	9.0	砂 利	バケツ運搬
表土置戻		43.1	100	26.0	30.0	1.0	11.0	壤植 土	主としてドー ジング作業にて行 なう
計		132.0	361	72.2	130.0	—	—		
平均		—	—	12.0	43.3	0.9	9.3		

コンクリートパンフレット (66号まで一但し欠号あり) 各号共 A・5判 1部 60円〒10円 御一報次第 図書目録進呈

64号 放射線しゃへい用コンクリートの基礎知識 103頁 建設省建築研究所工博 白山和久氏執筆

しゃへい用コンクリートの材料, 調合, 物理的性質, 設計などはもちろん, 放射線の種類, 性質, 放射線障害, 関係法規まで詳述したもの

65号 コンクリートの施工と試験 91頁 日本セメントK.K.研究所 工博 山田順治氏執筆

練り混ぜ, コンクリートのコンシステンシー, 打ち込み, コンクリートの強度, 締め固め, 養生, 品質管理, 寒中および暑中コンクリート, AEコンクリート

翻訳3 舗装の維持と補修 110頁 京都大学名誉教授工博 近藤泰夫氏訳

舗装の維持補修に従事する技術者に対する指針を与え, 小規模改良工事或いは付加工事を指導するに必要な機能, 設計, 規準に関する参考資料を掲載(米国書の翻訳)

近刊 66号 砂防ダム 54頁 建設河川局 砂防課 長木村正昭氏執筆

長年実地に研究, 指導された権威が綿密かつわかりやすく執筆されたもの
目次 1.総論 2.計画および構造細目 3.断面決定法(I) 4.断面決定法(II)
5.施工 6.計画および構造細目

東京都港区赤坂台町1番地
振替東京 196803・電(481) 8541(代)

日本セメント技術協会